

第79回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第79回日本体力医学会大会は下記のように準備を進めております。一般研究発表抄録の登録および学会誌「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMS) Vol. 14, No. 6」への抄録提出はすべて大会ウェブサイト上で行います。

なお、最新情報は第79回学会大会ウェブサイト (<https://tairyoku79.com>) をご覧ください。

記

1. 会 期：2025年9月17日(水)，18日(木)，19日(金)
2. 会 場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
(〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1)
3. 大 会 長：田畑 泉（立命館大学スポーツ健康科学部・特命教授）
4. 大会事務局：第79回日本体力医学会大会 主催事務局
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
立命館大学スポーツ健康科学部 実行委員長（事務局長）
家光 素行（立命館大学スポーツ健康科学部・教授）
5. 運営事務局：株式会社クレオテック
第79回大会運営デスク（株式会社阪急交通社）
〒530-8355 大阪府大阪市北区梅田2-5-25 ハービス OSAKA 9F
TEL：06-4795-5927
(平日10：00～17：00 ※時間外：土日祝日, 12/28～1/5, 8/9～17)
FAX：06-4795-5932
E-mail：tairyoku79@hei.hankyu.co.jp
6. 大会プログラム（予定）
 - (1) 大会長講演
 - (2) 学会理事長講演
 - (3) 海外招待講演
 - (4) 特別講演
 - (5) 基調講演
 - (6) 教育講演
 - (7) シンポジウム
 - (8) 一般研究発表（オーラル・ポスター）
 - (9) 学会賞受賞講演
 - (10) 共催セミナー（ランチョンセミナー・スポンサードシンポジウム）
 - (11) 市民公開講座
 - (12) その他

参加登録方法

1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ウェブサイト上で、当日登録は大会会場受付で行います。なお、大会参加証は会期中受付にて発行予定です。

(予稿集は基本的に大会ホームページよりPDFをダウンロードいただきます。予稿集の冊子は有償となる予定です。)

2. 大会参加費

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
学会非会員	事前登録	一般	12,000円	学生	7,000円
	当日登録	一般	14,000円	学生	7,000円

3. 事前登録

(1) 事前登録期間

2025年4月1日(火)12:00から8月17日(日)23:59まで

(2) 事前登録方法

事前登録は大会ウェブサイト参加登録のページから、案内に従い登録を行って下さい。
第79回学会大会ウェブサイト: <https://tairyoku79.com>

※オンライン登録以外の事前登録方法はございませんので、ご注意ください。

(3) 事前登録の参加費支払い方法

後日公開する大会ウェブサイト参加登録のページをご参照ください。

(4) 当日登録方法

事前登録をされていない方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、受付に当日登録窓口を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

※大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。

※大会の一般研究発表への応募は、事前参加登録を演題登録前に完了いただく必要があります。

演題応募方法

1. 登録資格

大会への一般研究発表演題登録ができるのは、大会事前参加登録を完了した会員番号を持つ日本体力医学会会員に限ります。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。非会員の方で日本体力医学会に入会希望の方は、日本体力医学会ウェブサイトからオンラインで入会手続きを行って下さい（自動返信メールで会員番号が通知されます）。FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

●入会申し込み・問い合わせ

事務局：一般社団法人日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階

学会支援機構内

TEL：03-5981-6015（学会専用） FAX：03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

2. 登録方法

演題登録開始：2025年4月1日（火）12：00から

締切：2025年5月23日（金）23：59まで

一般研究発表の演題登録の際には、予め大会ウェブサイト上で事前登録をお済ませください。

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。演題登録時に発表形式の選択を行って下さい。ただし、発表形式は希望に添えない場合があります。本学会では、すべて現地での対面発表となります。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録数に上限はございません。

演題登録は大会ウェブサイト演題募集ページより、案内に従って進めて下さい。最初に演題登録した際に自動的に演題登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録番号とパスワードは、登録の変更と、後日の「JPFSSM Vol. 14, No. 6」掲載用抄録の登録に必要になりますので忘れることのないようご注意ください。毎年、パスワードを失念されたとの問い合わせが事務局宛に多くありますが、事務局では一切対応できません。

大会ウェブサイト URL: <https://tairyoku79.com>

日本体力医学会理事会における決定事項として、「第79回日本体力医学会大会」から演題登録に際し、研究倫理審査を必要とする演題については、所属施設等の倫理審査委員会の承認を受けていることが必須となりました。

* ご所属の機関に倫理審査委員会が設置されていない場合、本学会の倫理委員会にて、人を対象とする医学系研究については研究倫理審査を受け付けておりますので、ご活用ください。

◇日本体力医学会・研究倫理審査

<https://plaza.umin.ac.jp/jspfsm/rinrisinsa/indexRinri.htm>

<一般研究発表された演題の抄録は英文とし学会誌「JPFSM Vol. 14, No. 6」に掲載します>

※英文抄録は発表者各自でネイティブチェックを受けることを推奨します。

「JPFSM Vol. 14, No. 6」の掲載用抄録の登録期間

開始：2025年7月上旬（採択通知到着後から）

締切：2025年10月15日(水) 23：59まで

締切を過ぎると「JPFSM Vol. 14, No. 6」への抄録の掲載ができません。

3. その他

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしかねます。
- (2) 登録番号、パスワードに関するお問い合わせにはセキュリティーの関係上応じられません。登録番号とパスワードは大切に保管して下さい。
- (3) トラブル発生などの情報は、大会ウェブサイト上に随時掲載いたします。

宿泊予約のご案内

1. ご案内

全国各地より第79回日本体力医学会大会にご参加される皆様方へ

会場の「びわこ・くさつキャンパス」にアクセスしやすい草津市周辺から京都市内周辺など、ニーズにお応えするようお好みに合わせて選べるホテルをご用意いたしました。

詳しくは大会ウェブサイトをご覧ください。

大会期間中は、第79回国民スポーツ大会と2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）が開催され近畿圏のホテルは予約が取りにくく、合わせて客室料金の高騰が見込まれます。

上記を踏まえましてご案内するホテルは、特別料金にてご提供させていただきます。

申込締切日近くになりますとご希望ホテルが手配できない場合もございますので、予めご了承ください。

2. 予約方法

2025年4月1日(火) から大会ウェブサイトの「宿泊予約」のバナーから宿泊予約のご案内をご覧ください。

大会ウェブサイト URL: <https://tairyoku79.com>

査読をお願いした先生方は次の方々です

2023年12月1日～2024年11月30日投稿分

阿 藤 聡	川 上 諒 子	鄭 松 伊	長 尾 雅 史
綾 部 誠 也	河 鱒 一 彦	関 子 浩 太 佑	中 田 大 貴
安 藤 良 介	川 間 羅 聖	蘇 り ナ	中 村 雅 俊
池 田 達 昭	北 岡 祐	高 橋 信 二	中 村 有 紀
板 垣 篤 典	北 濃 成 樹	田 口 素 子	沼 尾 成 晴
井 上 由 里	木 戸 康 平	竹 上 綾 香	橋 本 健 志
上 田 真 也	木 目 良 太 郎	田 島 敬 之	林 恵 嗣
白 井 達 矢	桑 水 隆 多	田 島 卓 也	原 丈 貴
大河原 一 憲	香 村 恵 介	田 中 千 晶	平 田 昂 大
大 高 千 明	小 出 所 大 樹	丹 治 史 弥	山 内 秀 樹
岡 崎 和 伸	近 藤 早 希	辻 本 健 彦	山 田 陽 介
加 治 屋 勝 子	佐 古 隆 之	角 田 憲 治	吉 岡 利 貢
加 納 裕 久	沢 田 秀 司	十 枝 内 厚 次	脇 英 彰

52名 (五十音順, 敬称略)

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2024年9月）議事録

日 時：2024年9月1日(日) 午後5時00分～5時30分

場 所：佐賀大学 教養教育1号館1F 運営機構会議室
およびZoomによるハイブリッド形式

議 長：永富良一理事長

出席者（現地）：

永富良一理事長，内藤久士副理事長，
中田由夫常務理事，井上 茂，甲斐裕子，後藤勝正，
須永美歌子，竹森 重，田畑 泉，中里浩一，
檜垣靖樹，前田清司，町田修一，宮下政司各理事，
家光素行，石井好二郎各監事，
松山郁夫第78回大会長，
山津幸司第78回大会実行委員長

出席者（オンライン）：

小熊祐子副理事長，岡浩一朗，下光輝一，田村好史，
成田和穂，宮地元彦各理事

欠席者：

赤間高雄，勝川史憲，内藤義彦，浜岡隆文，
宮川俊平各理事，清田 寛，小林康孝各監事

議事に先立ち，松山大会長，永富理事長より挨拶があった。

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には，自動的に承認されることにした。

【報告事項】

1. 令和6年度会計報告（決算）に関する件について（再確認）（中田常務理事）

宮川財務委員長欠席のため，中田常務理事より，8月20日の理事会で確認済みの令和6年度決算について，会計監査が完了したことが報告された。石井監事より，資料に基づき，監査の結果，問題は認められなかった旨が報告された。

2. その他

1) 第79回（滋賀）大会の進捗状況

（田畑第79回大会長）

田畑大会長より，第79回（滋賀）大会の準備状況について報告された。

一般社団法人日本体力医学会 令和6年度評議員会 議事録

日 時：2024年9月3日(火)

午後1時40分～午後2時40分

場 所：佐賀大学教養教育大講義室

議 長：下光輝一

出席理事監事：永富良一，内藤久士，小熊祐子，
中田由夫，井上 茂，岡浩一朗，
甲斐裕子，後藤勝正，下光輝一，
須永美歌子，竹森 重，田畑 泉，
内藤義彦，中里浩一，成田和穂，
浜岡隆文，檜垣靖樹，前田清司，
町田修一，宮下政司，宮地元彦各理事，
家光素行，石井好二郎各監事

議事録作成者：下光輝一

議事に先立ち，松山郁夫大会長，永富理事長の挨拶があった。続いて，中田常務理事より，“評議員会兼社員総会の成立”について説明された。定款によれば，評議員会は現評議員数491名のうち，委任状を含めた過半数（246名）以上の出席があれば開催可能となる。2024年9月1日時点で，評議員Web登録委任状100名および往復はがき委任状161名を併せて261名，出席者79名であり，合計340名となる。過半数246名を超えたので評議員会の開催が成立する旨，報告された。

中田常務理事より，令和6年度評議員会兼社員総会開催が宣言された。

【報告事項】

1. 令和6年度庶務報告に関する件（井上総務委員長）

1) 会員総数3,305名（2024年7月31日現在）

名 誉 会 員 40名

正 会 員 3,196名

シニア会員 57名

外国会員 7名

賛 助 会 員 5団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団，鶴岡印刷株式会社，公益財団法人明治安田厚生事業団，大塚製薬株式会社，株式会社ウイスマー

2) 役員数

評 議 員 491名

(内) 医 師 62名

(内) 非医師 429名

(内) 理 事 25名

監 事 4名

3) 購読数 101団体

体力科学 95団体

JPFMSM 6団体

4) 年度内入退会状況

新入会員 215名

退 会 者 341名

(内) 申 込 者 181名

自然退会 160名

2. 令和6年度事業報告に関する件（各委員長）

以下のとおり令和6年度事業について報告された。

1) 事業期間

2023年(令和5年)8月1日～

2024年(令和6年)7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

1. 第80回大会（青森）大会長の推薦：津田英一先生（弘前大学教授）
2. 学会規定の公開に関する検討
3. 定款の改訂および評議員制度に関する検討
4. 部会制・若手の会の設立
5. 会員情報の収集に関する検討
6. 会員の状況の分析

・編集委員会

1. 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFISM)」

Vol. 12のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 13のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 72のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 73のNo. 1, No. 2, No. 3

- 1) 電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

- 2) JPFISM掲載論文リストのメール配信

2. 「JPFISM」投稿規定を改訂（1/31）

【改訂箇所】

- (1) 「Aims and Scope」から「international」の語句を削除
- (2) 「Availability of data and materials」にJ-STAGE Data (see below) or otherを追記し、関連項目としてJ-STAGE Dataを新設
- (3) 「Advertising Policy」を追加

3. 日本体力医学会ホームページ「新URL」への切り替えのお知らせ（2/1）

4. 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）2023年度ジャーナルコンサルティング

「ジャーナルインパクトファクター（JIF）取得要件への準拠」2023年6月～2024年3月

- ・中間報告Webミーティング（12/20）、最終報告書の提出（3/8）

5. 特集号について（5/20理事会にて）

- ・特集号の掲載料の著者負担を免除することが承認された。

- ・次年度予算でJPFISM、体力科学の特集号の掲載（各1回）も学会予算として認められた。（次年度予算に関しては、9月の大会での社員総会で正式決定）

・学術委員会

佐賀大会において4つのセミナーを企画・運営
佐賀大会において一般市民を対象とした公開講座を企画

1. スポーツ医学研修会委員会

スポーツ医学研修及び日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号の在り方について検討を行った。

スポーツ医学研修の在り方については継続審議中である一方、本年度はスポーツ医学研修の

代替として佐賀大会における講演によるスポーツ医学研修会を開催予定。（講演者：岡本孝信先生（日体大））

日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号継続者として9名（うち終身1名）を継続とした。

2. 学会賞選考委員会

第37回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

・財務委員会

令和6年度の収入から、各委員会の活動の適正な運営が行なえるよう活動費を配分した。

令和7年度については令和6年度の活動を踏まえた予算案の作成を行なった。

・利益相反委員会

1. 日本医学会連合研究倫理委員会、利益相反委員会他の主催による研究倫理教育研修会（2024.5.7）に、日本体力医学会として出席。「日本医学会連合・日本医学会利益相反委員会の経緯と組織COIの在り方」を聴講し、日本医学会および所属学会の組織COIへの取り組み状況について情報を得た。

2. 組織COIに規定を設けている学会が現状ではまだ少ない状況が理解された。引き続き、他学会の組織COIの取り組みについて情報収集し、日本体力医学会での取り組み方針を検討する。

・評議員選考委員会

1. 令和5年度評議員候補者5名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。（男性：5名、女性：0名）

2. 令和6年度評議員候補者として15件の申請があり、Web会議にて慎重に審査したところ全員「適格」と判定した。（男性：12名、女性：3名）

・渉外委員会

【国際学術事業】

1. 「体力科学」での渉外委員会所掌の2023年度日本体力医学会国際学術交流奨励賞受賞者の学会参加報告

①2022年4月～2023年3月31日までの国内外で開催された国際学会（5カ国以上が参加する学会）での発表を評価

②筆頭演者としてオリジナルな演題を発表している若手を中心とする学会会員

③最優秀賞1名、優秀賞3名（口頭30万円、20万円、ポスター15万円、10万円）

④受賞者

- 1) 口頭最優秀賞 田淵絢香・電気通信大学 ACSM 2022 San Diego USA: Pharmacological Inhibition of Ryanodine Receptors Immediately After Eccentric Contractions Exercise Effectively Reduces Exercise-induced Muscle Damage In Rat Skeletal Muscle

- 2) 口頭優秀賞 土橋康平・北海道教育大学 19th International Conference on Environmental Ergonomics Niagara Falls Canada: Hypocapnic hyperventilation and hypoxia

- additively increase anaerobic metabolism during supramaximal exercise
- 3) ポスター最優秀賞
塩谷彦人・早稲田大学スポーツ科学学術院
40th Conference of the International Society of Biomechanics in Sports Liverpool UK: Associations between exercise-induced flattening of foot arch and fatigue of extrinsic and intrinsic foot muscles
- 4) ポスター優秀賞
竹田怜央・電気通信大学
18th International Biochemistry of Exercise Conference, Toronto, Canada: Loss of CMAH improved cellular senescence in adipose tissues and insulin sensitivity in aged mice
- 5) ポスター優秀賞
曾谷祐太・電気通信大学
18th International Biochemistry of Exercise Conference, Toronto, Canada: Mathematical modeling of skeletal muscle protein synthesis pathway activated by resistance exercise
- 6) ポスター優秀賞
藤本知臣・新潟医療福祉大学健康スポーツ学科
19th International Conference on Environmental Ergonomics, Niagara Falls Canada: TRPM8 contributes to cutaneous vasoconstriction during local, but not whole-body cooling in humans
2. 韓国運動生理学会2024 KSEP 交流シンポジウム シンポジスト派遣
- ①Joint Symposium between JSPFSM and KSEP
②2024年4月11日(木)~13日(土)
場所: Jeju National University (韓国)
③座長: 秋本崇之 (早稲田大学)
渉外委員会委員による推薦を経て, 以下の2名の日本体力医学会会員を交流シンポジウムに派遣
④演者1: 渡邊航平 (中京大学)
Effects of exercise and nutritional supplementation on motor unit activation properties in older adults
⑤演者2: 相澤勝治 (専修大学)
Mechanism of exercise-induced local androgen production in skeletal muscle
⑥今後のKSEPとJSPFSMの交流に関する意見交換
本学会大会における交流シンポジウム開催検討
3. 2024年日本体力医学会ECSSとの交流セッションの佐賀大会での発表のための選考
- ①2024年4月26日(金)
②渉外委員会委員による推薦を経て, 以下の2名の日本体力医学会会員を佐賀大会でのECSS側の派遣者との交流に選出
- 西川太智 (中京大学)
前大純朗 (立命館大学)
4. 2024年度日本体力医学会若手研究奨励賞 (国際学術交流) の佐賀大会での発表のための選考
- ①2024年4月30日(火)
②17名より応募があり, 渉外委員会委員による審査の結果, 以下の7名を佐賀大会での最終審査のために選出
渡邊大輝 (大阪体育大学)
古市泰郎 (東京都立大学)
梅原 潤 (関西医科大学)
松村哲平 (立命館大学)
永田康喜 (国立国際医療研究センター)
川島将人 (川崎医療福祉大学)
平賀大一 (筑波大学)
- 【国内学術交流事業】
1. 日本医学会連合TEAM事業「フレイル・ロコモ対策会議」との連携
- ①2023年8月17日(木)
②書籍「フレイル・ロコモのグランドデザイン」の出版(同志社大学の石井好二郎先生に依頼)
2. 日本生理学会との合同シンポジウム
- ①第101回日本生理学会合同シンポジウム企画
②2024(令和6)年3月28日(木)~30日(土)
北九州国際会議場・西日本総合展示場 (AIM)
③1S08e 他学会連携委員会企画
身体不活動研究から切り開く健康科学の新展開~骨格筋研究における最新知見~
共催: 日本体力医学会
④オーガナイザー: 吉原利典 (順天堂大学)
富賀裕貴 (福岡大学)
⑤講演者: 吉原利典 (順天堂大学)
富賀裕貴 (福岡大学)
藤野英己 (神戸大学)
笥 佐織 (順天堂大学)
- ・倫理委員会
1. 佐賀大会の一般演題登録者への倫理的手続きについてのアンケート調査実施
- ・広報委員会
1. 学会ホームページの管理・運営
- ・男女共同参画推進委員会
1. 男女共同参画学協会連絡会への参加
2. 佐賀大会における公募シンポジウムにおける男女共同参画に関する提言
3. 佐賀大会における企画の検討
- ・全国地方会実行委員会
各地方会における課題の把握
- ・将来構想検討委員会
1. 各種委員会委員長および委員長推薦者で構成することを決定
2. 幅広く会員の要望を聴くオンラインのウェビナーを計画中
3. 執行部体制を理事長・副理事長・常務理事・総務委員長・学術委員長・編集委員長・財務委員長で構成し, 随時学会運営に関することを検討することとした.

・プログラム委員会

1. 学会大会での本部企画プログラムの立案・運営

3) 日本体力医学会特別大会

－2023東京シンポジウム－の実施

大会長：鈴木政登（一般社団法人日本体力医学会）

会期：2023年(令和5年)9月17日(日)

会場：早稲田大学大隈記念講堂

(〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104)

4) 令和6年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®

称号認定者

継続(8名)

伊藤清二 三橋敏武 高橋政行

角田憲治 榎本紀行 大崎 栄

阿部恭子 石見淳二

終身(1名)

矢野史也 (敬称略)

3. 令和7年度事業計画に関する件(各委員長)

以下のとおり令和7年度事業計画について報告された。

1) 事業期間

2024年(令和6年)8月1日～

2025年(令和7年)7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

1) 第80回青森大会(2026年)の大会長の推薦

2) 第81回宮崎大会(2027年)の大会長の推薦

3) シニア会員の推薦

4) 規定類の管理・見直し(適正な公開を含む)

5) 部会制・若手の会の設立

6) 会員情報の把握、分析

7) その他、学会総務にかかわる事業

・編集委員会

1) ジャーナルの発行、公開(J-STAGE, DOAJ)

JPFISM : Vol. 13-4~14-3 (合計6号)

体力科学 : Vol. 73-4~74-3 (合計6号)

2) 掲載論文数を増やす

[JPFISM] : 特集を掲載する。

[体力科学] : 特集を掲載する。

3) 学会大会での「論文サポート(JPFISM・体力

科学への論文投稿のススメ)」セミナー開催

(学術委員会と共催)

・学術委員会

1) 佐賀大会での活動

・学術委員会企画のセミナーを4つ開催

研究費取得セミナー、論文サポートセミナー

(編集委員会との共催)、キャリアアップセミナー

(男女共同参画推進委員会)、研究環境

セミナー

・一般市民を対象とした公開講座を開催

演者：谷本道哉先生(順天堂大学)

「筋トレのお話」

2) 年次大会以外での活動

・学術セミナー等の開催(Webinar等)

・他学会との連携活動事業の促進

(渉外委員会との協働)

・次回年次大会での学術委員会企画セミナーの

立案

・学会および会員のアカデミックな活動に対する支援・協力(倫理サポート等)

1. スポーツ医学研修会委員会

1) 委員について(大学別, 50音順)

沼津成晴(鹿屋体育大学), 田村好史, 町田

修一(順天堂大学), 井上茂(東京医科大),

岡本孝信, 須永美歌子, 中里浩一(日体大)

2) 2024年度研修会について

2024年度の従来型のスポーツ医学研修会実

施は見送る。ただし第78回日本体力医学会大

会において研修会による講演会を実施する。

講師は岡本孝信先生(日本体育大学)に依頼

済みである。

3) 2025年度研修会について

2026年夏頃に実施すべく準備を進める。

2. 学会賞選考委員会

1) 第38回日本体力医学会賞候補の選考を実施

する。

2) 第78回日本体力医学会大会(佐賀大会)で

第37回受賞者の講演を開催する。

3) 学会HPにて、第37回の受賞者を紹介する。

・財務委員会

令和8年度予算案の作成

各委員会からの予算案をもとに適正に資金を運

営していく。

・評議員選考委員会

ホームページおよび機関誌に掲載した評議員選

考内規(令和2年2月21日改定)のさらなる周知

をはかり、評議員推薦申請の増加およびとりわけ

女性評議員の増加を目指す。

・渉外委員会

1) 国際交流事業

(1) 若手研究奨励賞(国際学術交流)による、

若手研究者・学生への表彰(年次集会で独自の

セッションを設け、口頭発表にて審査)

(2) European College of Sport Science(ECSS)

との交流シンポジウム

(ア) ECSS Rimini 2025での公募シンポジウ

ムへの派遣(日本体力医学会会員×2名)

(イ) ECSS Glasgow 2024のYIA受賞者2-3

名を第79回日本体力医学会大会(滋賀)で

の国際セッションへ招聘

(3) Korean Society of Exercise Physiology

(KSEP)との交流シンポジウム

(ア) KSEP 2025での交流シンポジウムへの

派遣(日本体力医学会会員×2名)

(イ) KSEPの会員3名を第79回日本体力医

学会大会(滋賀)での交流シンポジウムへ

招聘

(4) Asian Federation of Sports Medicine

(AFSM)主催の会議(2024年9月:マレー

シア)への派遣(日本体力医学会会員×2名)

2) 国内学術交流事業

(1) 国内学術団体との合同シンポジウム

(ア) 2025年度に開催されるXX学会(委員よ

- り提案を募集中)での合同シンポジウムへの派遣(日本体力医学会会員×2名)
- 3) 今期において取り組みたい課題等
- ・実践的に活躍されておられる方が、気軽に活動の成果を発表したり意見交換したりできる場の創出(他の学術団体との連携を意識し)
 - ・国際学術交流および国内学術交流に関して、予算次第、さらに外部スポンサーの支援が得られれば、新規の交流事業の開催(学際的なテーマや社会課題的なテーマ等)
- ・倫理委員会
 - 1) 佐賀大会の一般演題登録者への倫理的手続きについてのアンケート調査の結果分析と現状把握
 - 2) 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発
 - ・広報委員会
 - 1) ホームページのコンテンツに関する検討
広報委員による最近の興味ある研究に関するミニレビューの掲載
 - 2) その他、本学会に関わる事項の広報活動
 - ・男女共同参画推進委員会
 - 1) 男女共同参画推進に関する情報収集
 - ・男女共同参画学協会連絡会への委員の参加
 - 2) 学術大会での企画検討・実施
 - ・第78回日本体力医学会大会における公募シンポジウムでの女性・若手優遇措置の提案
 - ・第78回日本体力医学会大会におけるキャリアセミナー開催(学術委員会との共同開催)
 - ・利益相反委員会
 - 1) 組織COIの管理指針について情報収集、他学会の現状把握
 - 2) 学会のCOI指針改定に向けた調整作業
現行の学会COI指針は個人を念頭においている。近年、研究機関や学会自体の組織COIについて管理指針を定める学会が増えている。
組織COIには、学会発表や論文投稿の際の研究機関の組織COIのほか、学会：企業・営利団体との受託研究、寄付金、学術集会：企業主催・共済のセミナー、企業展示、広告料等の開示も含まれる。このうち、学会誌の投稿論文は編集委員会がCOI管理を行う。指針の改定にあたり調整作業を進める。
 - ・全国地方会実行委員会
遠隔会合の併用を含めた地方会運営の工夫を検討する。
 - ・将来構想検討委員会
日本体力医学会の将来のありかたを検討する。
個人や社会が直面する体力に関する疑問に対して科学的根拠に基づいて解決していくのに必要な学術領域で活動する研究者・教育者、あるいはそれを学ぶ学生などを中心とする会員に対して学会組織としてどのような価値を提供していくのかを検討する。
 - 1) 研究の質を高めていく活動
 - 2) 教育の質を高めていく活動
 - 3) 会員の学会内外の交流を広め深めるための活動
 - 4) 体力科学が役に立つ領域への社会連携を含むアクセス・アプローチ
などを実現するためにどのような活動ができるのかアイデアを自由に提案。有用な案件について学会としての事業化を検討していく。
 - ・プログラム委員会
 - 1) 学会大会での本部企画の立案・運営
 - 2) 学会大会でのシンポジウムのテーマ・セッションの調整
- 3) 第78回日本体力医学会大会(佐賀)の準備
大会長：松山郁夫(佐賀大学名誉教授)
会期：2024年(令和6年)9月2日(月)～4日(水)
会場：佐賀大学 本庄キャンパス
(〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1)
- 4) 第79回日本体力医学会大会(滋賀)の準備
大会長：田畑 泉(立命館大学スポーツ健康科学部教授)
4. 令和7年度会計報告(予算)に関する件
(中田常務理事)
令和7年度予算書が提示され、令和7年度の収入額合計69,210,000円、支出合計額が73,177,000円で、赤字見込みである旨、報告された。
5. 第80回日本体力医学会大会(青森)に関する件
(永富理事長)
大会長として津田英一氏(弘前大学大学院医学研究科教授)が理事会で承認された旨、報告された。
津田第80回大会長より挨拶があった。
6. 令和6年度会計報告(決算)に関する件
(中田常務理事)
令和6年度決算について、当年度収支としては3,503,931円の黒字となり、次年度繰越金は97,446,146円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によるチェックが行われている事が併せて報告があり、引き続き石井監事より監査報告が行われたことが報告された。
7. その他
1) 田畑第79回大会長より、第79回大会概要の報告があった。
- 【審議事項】
1. 評議員推薦に関する件(浜岡評議員選考委員長)
令和6年度評議員推薦に関しては15名の推薦があり、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格を有するとの報告に基づき、審議の結果、承認された。新評議員(15名)
- | | | |
|-------|------|-------|
| 岩本えりか | 北濃成樹 | 黒瀬聖司 |
| 田渕絢香 | 街勝憲 | 土田和可子 |
| 兵頭和樹 | 深尾宏祐 | 藤井悠也 |
| 町田征己 | 森山善文 | 山下亮 |
| 山代幸哉 | 山田陽介 | 渡部厚一 |
- (敬称略)

一般社団法人日本体力医学会 令和6年度社員総会 議事録

日 時：2024年9月3日(火)

午後1時40分～午後2時40分

場 所：佐賀大学教養教育大講義室

議 長：永富良一

出席理事監事：永富良一、内藤久士、小熊祐子、
中田由夫、井上 茂、岡浩一郎、
甲斐裕子、後藤勝正、下光輝一、
須永美歌子、竹森 重、田畑 泉、
内藤義彦、中里浩一、成田和穂、
浜岡隆文、檜垣靖樹、前田清司、
町田修一、宮下政司、宮地元彦各理事、
家光素行、石井好二郎各監事

出席社員数：79名（議決権個数79個）

議事録作成者：永富良一

議事に先立ち、松山郁夫大会長、永富理事長の挨拶があった。

【報告事項】

1. 令和6年度庶務報告に関する件（井上総務委員長）

1) 会員総数3,305名（2024年7月31日現在）

名誉会員	40名
正会員	3,196名
シニア会員	57名
外国会員	7名
賛助会員	5団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田厚生事業団、大塚製薬株式会社、株式会社ウイスマー

2) 役員数

評議員	491名
(内) 医師	62名
(内) 非医師	429名
(内) 理事	25名
監事	4名

3) 購読数 101団体

体力科学	95団体
JPFMSM	6団体

4) 年度内入退会状況

新入会員	215名
退会者	341名
(内) 申込者	181名
自然退会	160名

2. 令和6年度事業報告に関する件（各委員長）

以下のとおり令和6年度事業について報告された。

1) 事業期間

2023年(令和5年)8月1日～

2024年(令和6年)7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

- 第80回大会（青森）大会長の推薦：津田英一先生（弘前大学教授）

2. 学会規定の公開に関する検討

3. 定款の改訂および評議員制度に関する検討

4. 部会制・若手の会の設立

5. 会員情報の収集に関する検討

6. 会員の状況の分析

・編集委員会

1. 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)」

Vol. 12のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 13のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 72のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 73のNo. 1, No. 2, No. 3

1) 電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

2) JPFMSM掲載論文リストのメール配信

2. 「JPFMSM」投稿規定を改訂（1/31）

[改訂箇所]

(1) 「Aims and Scope」から「international」の語句を削除

(2) 「Availability of data and materials」にJ-STAGE Data (see below) or otherを追記し、関連項目としてJ-STAGE Dataを新設

(3) 「Advertising Policy」を追加

3. 日本体力医学会ホームページ「新URL」への切り替えのお知らせ（2/1）

4. 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）2023年度ジャーナルコンサルティング

「ジャーナルインパクトファクター（JIF）取得要件への準拠」2023年6月～2024年3月

・中間報告Webミーティング（12/20）、最終報告書の提出（3/8）

5. 特集号について（5/20理事会にて）

・特集号の掲載料の著者負担を免除することが承認された。

・次年度予算でJPFMSM、体力科学の特集号の掲載（各1回）も学会予算として認められた。（次年度予算に関しては、9月の大会での社員総会で正式決定）

・学術委員会

佐賀大会において4つのセミナーを企画・運営
佐賀大会において一般市民を対象とした公開講座を企画

1. スポーツ医学研修会委員会

スポーツ医学研修及び日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号の在り方について検討を行った。

スポーツ医学研修の在り方については継続審議中である一方、本年度はスポーツ医学研修の代替として佐賀大会における講演によるスポーツ医学研修会を開催予定。（講演者：岡本孝信

先生（日体大）

日本体力医学会健康科学アドバイザー® 称号
継続者として9名（うち終身1名）を継続とした。

2. 学会賞選考委員会

第37回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

・財務委員会

令和6年度の収入から、各委員会の活動の適正な運営が行なえるよう活動費を配分した。

令和7年度については令和6年度の活動を踏まえた予算案の作成を行なった。

・利益相反委員会

1. 日本医学会連合研究倫理委員会、利益相反委員会他の主催による研究倫理教育研修会（2024.5.7）に、日本体力医学会として出席。「日本医学会連合・日本医学会利益相反委員会の経緯と組織COIの在り方」を聴講し、日本医学会および所属学会の組織COIへの取り組み状況について情報を得た。

2. 組織COIに規定を設けている学会が現状ではまだ少ない状況が理解された。引き続き、他学会の組織COIの取り組みについて情報収集し、日本体力医学会での取り組み方針を検討する。

・評議員選考委員会

1. 令和5年度評議員候補者5名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。（男性：5名、女性：0名）

2. 令和6年度評議員候補者として15件の申請があり、Web会議にて慎重に審査したところ全員「適格」と判定した。（男性：12名、女性：3名）

・渉外委員会

【国際学術事業】

1. 「体力科学」での渉外委員会所掌の2023年度日本体力医学会国際学術交流奨励賞受賞者の学会参加報告

①2022年4月～2023年3月31日までの国内外で開催された国際学会（5カ国以上が参加する学会）での発表を評価

②筆頭演者としてオリジナルな演題を発表している若手を中心とする学会会員

③最優秀賞1名、優秀賞3名（口頭30万円、20万円、ポスター15万円、10万円）

④受賞者

1) 口頭最優秀賞 田淵絢香・電気通信大学
ACSM 2022 San Diego USA: Pharmacological Inhibition of Ryanodine Receptors Immediately After Eccentric Contractions Exercise Effectively Reduces Exercise-induced Muscle Damage In Rat Skeletal Muscle

2) 口頭優秀賞 土橋康平・北海道教育大学
19th International Conference on Environmental Ergonomics Niagara Falls Canada: Hypocapnic hyperventilation and hypoxia additively increase anaerobic metabolism during supramaximal exercise

3) ポスター最優秀賞

塩谷彦人・早稲田大学スポーツ科学学術院
40th Conference of the International Society of Biomechanics in Sports Liverpool UK: Associations between exercise-induced flattening of foot arch and fatigue of extrinsic and intrinsic foot muscles

4) ポスター優秀賞

竹田怜央・電気通信大学

18th International Biochemistry of Exercise Conference, Toronto, Canada: Loss of CMAH improved cellular senescence in adipose tissues and insulin sensitivity in aged mice

5) ポスター優秀賞

曾谷祐太・電気通信大学

18th International Biochemistry of Exercise Conference, Toronto, Canada: Mathematical modeling of skeletal muscle protein synthesis pathway activated by resistance exercise

6) ポスター優秀賞

藤本知臣・新潟医療福祉大学健康スポーツ学科

19th International Conference on Environmental Ergonomics, Niagara Falls Canada: TRPM8 contributes to cutaneous vasoconstriction during local, but not whole-body cooling in humans

2. 韓国運動生理学会2024 KSEP 交流シンポジウム シンポジスト派遣

①Joint Symposium between JSPFSM and KSEP

②2024年4月11日(木)～13日(土)

場所：Jeju National University（韓国）

③座長：秋本崇之（早稲田大学）

渉外委員会委員による推薦を経て、以下の2名の日本体力医学会会員を交流シンポジウムに派遣

④演者1：渡邊航平（中京大学）

Effects of exercise and nutritional supplementation on motor unit activation properties in older adults

⑤演者2：相澤勝治（専修大学）

Mechanism of exercise-induced local androgen production in skeletal muscle

⑥今後のKSEPとJSPFSMの交流に関する意見交換

本学会大会における交流シンポジウム開催検討

3. 2024年日本体力医学会ECSSとの交流セッションの佐賀大会での発表のための選考

①2024年4月26日(金)

②渉外委員会委員による推薦を経て、以下の2名の日本体力医学会会員を佐賀大会でのECSS側の派遣者との交流に選出

西川太智（中京大学）

前大純朗（立命館大学）

4. 2024年度日本体力医学会若手研究奨励賞（国際学術交流）の佐賀大会での発表のための選考

- ①2024年4月30日(火)
 ②17名より応募があり、渉外委員会委員による審査の結果、以下の7名を佐賀大会での最終審査のために選出
 渡邊大輝（大阪体育大学）
 古市泰郎（東京都立大学）
 梅原 潤（関西医科大学）
 松村哲平（立命館大学）
 永田康喜（国立国際医療研究センター）
 川島将人（川崎医療福祉大学）
 平賀大一（筑波大学）

【国内学術交流事業】

1. 日本医学会連合TEAM事業「フレイル・ロコモ対策会議」との連携

- ①2023年8月17日(木)
 ②書籍「フレイル・ロコモのグランドデザイン」の出版（同志社大学の石井好二郎先生に依頼）

2. 日本生理学会との合同シンポジウム

- ①第101回日本生理学会合同シンポジウム企画
 ②2024(令和6)年3月28日(木)～30日(土)
 北九州国際会議場・西日本総合展示場（AIM）
 ③1S08e 他学会連携委員会企画
 身体不活動研究から切り開く健康科学の新展開～骨格筋研究における最新知見～
 共催：日本体力医学会
 ④オーガナイザー：吉原利典（順天堂大学）
 富賀裕貴（福岡大学）
 ⑤講演者：吉原利典（順天堂大学）
 富賀裕貴（福岡大学）
 藤野英己（神戸大学）
 笈 佐織（順天堂大学）

・倫理委員会

1. 佐賀大会の一般演題登録者への倫理的手続きについてのアンケート調査実施

・広報委員会

1. 学会ホームページの管理・運営

・男女共同参画推進委員会

1. 男女共同参画学協会連絡会への参加
 2. 佐賀大会における公募シンポジウムにおける男女共同参画に関する提言
 3. 佐賀大会における企画の検討

・全国地方会実行委員会

- 各地方会における課題の把握

・将来構想検討委員会

1. 各種委員会委員長および委員長推薦者で構成することを決定
 2. 幅広く会員の要望を聴くオンラインのウェビナーを計画中
 3. 執行部体制を理事長・副理事長・常務理事・総務委員長・学術委員長・編集委員長・財務委員長で構成し、随時学会運営に関することを検討することとした。

・プログラム委員会

1. 学会大会での本部企画プログラムの立案・運営

3) 日本体力医学会特別大会

－2023東京シンポジウム－の実施

大会長：鈴木政登（一般社団法人日本体力医学会）

会 期：2023年(令和5年)9月17日(日)

会 場：早稲田大学大隈記念講堂

(〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104)

4) 令和6年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®

称号認定者

継続（8名）

伊藤清二 三橋敏武 高橋政行

角田憲治 榎本紀行 大崎 栄

阿部恭子 石見淳二

終身（1名）

矢野史也

(敬称略)

3. 令和7年度事業計画に関する件（各委員長）

以下のとおり令和7年度事業計画について報告された。

1) 事業期間

2024年(令和6年)8月1日～

2025年(令和7年)7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

- 1) 第80回青森大会（2026年）の大会長の推薦
 2) 第81回宮崎大会（2027年）の大会長の推薦
 3) シニア会員の推薦
 4) 規定類の管理・見直し（適正な公開を含む）
 5) 部会制・若手の会の設立
 6) 会員情報の把握、分析
 7) その他、学会総務にかかわる事業

・編集委員会

- 1) ジャーナルの発行、公開（J-STAGE, DOAJ）
 JPFMSM : Vol. 13-4～14-3（合計6号）
 体力科学 : Vol. 73-4～74-3（合計6号）
 2) 掲載論文数を増やす
 [JPFMSM] : 特集を掲載する。
 [体力科学] : 特集を掲載する。
 3) 学会大会での「論文サポート（JPFMSM・体力科学への論文投稿のススメ）」セミナー開催（学術委員会と共催）

・学術委員会

- 1) 佐賀大会での活動
 ・学術委員会企画のセミナーを4つ開催
 研究費取得セミナー、論文サポートセミナー（編集委員会との共催）、キャリアアップセミナー（男女共同参画推進委員会）、研究環境セミナー
 ・一般市民を対象とした公開講座を開催
 演者：谷本道哉先生（順天堂大学）
 「筋トレのお話」
 2) 年次大会以外での活動
 ・学術セミナー等の開催（Webinar等）
 ・他学会との連携活動事業の促進（渉外委員会との協働）
 ・次回年次大会での学術委員会企画セミナーの立案
 ・学会および会員のアカデミックな活動に対す

- る支援・協力（倫理サポート等）
1. スポーツ医学研修会委員会
 - 1) 委員について（大学別, 50音順）
沼津成晴（鹿屋体育大学）, 田村好史, 町田修一（順天堂大学）, 井上茂（東京医科大）, 岡本孝信, 須永美歌子, 中里浩一（日体大）
 - 2) 2024年度研修会について
2024年度の従来型のスポーツ医学研修会実施は見送る。ただし第78回日本体力医学会大会において研修会による講演会を実施する。講師は岡本孝信先生（日本体育大学）に依頼済みである。
 - 3) 2025年度研修会について
2026年夏頃に実施すべく準備を進める。
 2. 学会賞選考委員会
 - 1) 第38回日本体力医学会賞候補の選考を実施する。
 - 2) 第78回日本体力医学会大会（佐賀大会）で第37回受賞者の講演を開催する。
 - 3) 学会HPにて、第37回の受賞者を紹介する。
 - ・財務委員会
令和8年度予算案の作成
各委員会からの予算案をもとに適正に資金を運営していく。
 - ・評議員選考委員会
ホームページおよび機関誌に掲載した評議員選考内規（令和2年2月21日改定）のさらなる周知をはかり、評議員推薦申請の増加およびとりわけ女性評議員の増加を目指す。
 - ・渉外委員会
 - 1) 国際交流事業
 - (1) 若手研究奨励賞（国際学术交流）による、若手研究者・学生への表彰（年次集会で独自のセッションを設け、口頭発表にて審査）
 - (2) European College of Sport Science (ECSS) との交流シンポジウム
 - (ア) ECSS Rimini 2025での公募シンポジウムへの派遣（日本体力医学会会員×2名）
 - (イ) ECSS Glasgow 2024のYIA受賞者2-3名を第79回日本体力医学会大会（滋賀）での国際セッションへ招聘
 - (3) Korean Society of Exercise Physiology (KSEP) との交流シンポジウム
 - (ア) KSEP 2025での交流シンポジウムへの派遣（日本体力医学会会員×2名）
 - (イ) KSEPの会員3名を第79回日本体力医学会大会（滋賀）での交流シンポジウムへ招聘
 - (4) Asian Federation of Sports Medicine (AFSM) 主催の会議（2024年9月：マレーシア）への派遣（日本体力医学会会員×2名）
 - 2) 国内学术交流事業
 - (1) 国内学術団体との合同シンポジウム
 - (ア) 2025年度に開催されるXX学会（委員より提案を募集中）での合同シンポジウムへの派遣（日本体力医学会会員×2名）
 - 3) 今期において取り組みたい課題等
 - ・実践的に活躍されておられる方が、気軽に活動の成果を発表したり意見交換したりできる場の創出（他の学術団体との連携を意識し）
 - ・国際学术交流および国内学术交流に関して、予算次第、さらに外部スポンサーの支援が得られれば、新規の交流事業の開催（学際的なテーマや社会課題的なテーマ等）
 - ・倫理委員会
 - 1) 佐賀大会の一般演題登録者への倫理的手続きについてのアンケート調査の結果分析と現状把握
 - 2) 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発
 - ・広報委員会
 - 1) ホームページのコンテンツに関する検討
広報委員による最近の興味ある研究に関するミニレビューの掲載
 - 2) その他、本学会に関わる事項の広報活動
 - ・男女共同参画推進委員会
 - 1) 男女共同参画推進に関する情報収集
・男女共同参画学協会連絡会への委員の参加
 - 2) 学術大会での企画検討・実施
・第78回日本体力医学会大会における公募シンポジウムでの女性・若手優遇措置の提案
・第78回日本体力医学会大会におけるキャリアセミナー開催（学術委員会との共同開催）
 - ・利益相反委員会
 - 1) 組織COIの管理指針について情報収集、他学会の現状把握
 - 2) 学会のCOI指針改定に向けた調整作業
現行の学会COI指針は個人を念頭においている。近年、研究機関や学会自体の組織COIについて管理指針を定める学会が増えている。
組織COIには、学会発表や論文投稿の際の研究機関の組織COIのほか、学会：企業・営利団体との受託研究、寄付金、学術集会：企業主催・共済のセミナー、企業展示、広告料等の開示も含まれる。このうち、学会誌の投稿論文は編集委員会がCOI管理を行う。指針の改定にあたり調整作業を進める。
 - ・全国地方会実行委員会
遠隔会合の併用を含めた地方会運営の工夫を検討する。
 - ・将来構想検討委員会
日本体力医学会の将来のありかたを検討する。
個人や社会が直面する体力に関する疑問に対して科学的根拠に基づいて解決していくのに必要な学術領域で活動する研究者・教育者、あるいはそれを学ぶ学生などを中心とする会員に対して学会組織としてどのような価値を提供していくのかを検討する。
 - 1) 研究の質を高めていく活動
 - 2) 教育の質を高めていく活動
 - 3) 会員の学会内外の交流を広め深めるための活動
 - 4) 体力科学が役に立つ領域への社会連携を含むアクセス・アプローチなどを実現するためにどのような活動ができるの

かアイデアを自由に提案。有用な案件について学会としての事業化を検討していく。

・プログラム委員会

- 1) 学会大会での本部企画の立案・運営
- 2) 学会大会でのシンポジウムのテーマ・セッションの調整

3) 第78回日本体力医学会大会（佐賀）の準備

大会長：松山郁夫（佐賀大学名誉教授）
会 期：2024年(令和6年)9月2日(月)～4日(水)
会 場：佐賀大学 本庄キャンパス
(〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1)

4) 第79回日本体力医学会大会（滋賀）の準備

大会長：田畑 泉（立命館大学スポーツ健康科学部教授）

4. 令和7年度会計報告（予算）に関する件

(中田常務理事)

令和7年度予算書が提示され、令和7年度の収入額合計69,210,000円、支出合計額が73,177,000円で、赤字見込みである旨、報告された。

5. 第80回日本体力医学会大会（青森）に関する件

(永富理事長)

大会長として津田英一氏（弘前大学大学院医学研究科教授）が理事会で承認された旨、報告された。

津田第80回大会長より挨拶があった。

6. 評議員推薦に関する件（浜岡評議員選考委員長）

令和6年度評議員推薦に関しては15名の推薦があり、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格を有するとの報告に基づき、審議の結果、承認された。新評議員（15名）

岩本えりか	北濃成樹	黒瀬聖司
田淵絢香	街勝憲	土田和可子
兵頭和樹	深尾宏祐	藤井悠也
町田征己	森山善文	山下亮
山代幸哉	山田陽介	渡部厚一

(敬称略)

7. その他

- 1) 田畑第79回大会長より、第79回大会概要の報告があった。

【審議事項】

1. 令和6年度会計報告（決算）に関する件

(中田常務理事)

令和6年度決算について、当年度収支としては3,503,931円の黒字となり、次年度繰越金は97,446,146円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によるチェックが行われている事が併せて報告があり、引き続き石井監事より監査報告が行われたことが報告され、審議の結果、承認された。

第7回日本体力医学会南九州地方会のご案内

1. 会期：令和7年2月15日(土)
2. 会場：くまもと県民交流館パレア（テトリアくまもとビル10階 第7・8会議室）
〒860-8554 熊本市中央区手取本町8番9号
(<https://www.parea.pref.kumamoto.jp/access.html>)
3. 日程（予定）

13：00～13：20	総会
13：25～13：35	幹事校挨拶
13：40～14：30	教育講演1
14：40～15：30	教育講演2
15：40～16：40	一般演題発表
16：45	閉会
4. 教育講演

演者1：中山貴文先生
九州中央リハビリテーション学院
(座長：井福裕俊先生
熊本大学大学院教育学研究科)
立位時における女性起立性低血圧者の循環調節機構～下肢抗重力筋活動に着目して～

演者2：山中航先生 順天堂大学スポーツ健康科学部
(座長：松本直幸先生
熊本県立大学環境共生学部)
スポーツや運動時における情動とパフォーマンス
5. 参加の形式

大会は、ハイブリッド形式（会場参加とWeb参加）で開催いたします。Webでの参加を希望される方は、Zoomにて参加していただきます。通信環境の良い場所でご参加ください。
6. 一般演題発表方法
 - 1) 本大会での一般演題は、パソコンを用いた口頭発表です。発表時間は14分（発表10分、質疑応答4分）の予定です。
 - 2) 使用パソコンを事務局で用意します（OS: Windows11, プレゼンソフト: PowerPoint 2019）。また、ご自身のノートパソコン等をご持参いただいても構いません。発表時のパソコンの操作は、発表者自身で行ってください。発表データは、USBメモリのメディアにてご持参ください。スライドサイズは16:9も可能です。
 - 3) 会場プロジェクターの接続端子はHDMIです。これ以外の端子を装備したパソコンをご使用の場合は、各自で変換アダプタをご用意ください。
7. 健康運動指導士および健康運動実践指導者の方へ

本大会は、健康運動指導士および健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として、講義2単位が認められます（現在、単位申請中）。履修を申請される方は、健康運動指導士証および健康運動実践指導者証をご持参の上、受付で手続きをしてください。
8. 懇親会のご案内（予定）

懇親会を開催する予定です。奮ってご参加ください。
日時：令和7年2月15日(土) 17：30～19：30予定
場所：会場は追ってお知らせいたします
会費：未定
9. 大会事務局

事務局長 井手裕子
〒865-0062 熊本県玉名市富尾888番地
九州看護福祉大学 看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科
Tel: 0968-75-1925
E-mail: yukowh@kyushu-ns.ac.jp

※プログラム内容や時間等につきましては、現在交渉中のものもあり、最終的に変更することがあります。
10. 交通アクセス

【JR熊本駅から】

 - ・市電：23分（「水道町」電停下車）
 - ・熊本都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バス、熊本バス：17分（「水道町」バス停下車）
15分（「通町筋」バス停下車）
 - ・タクシー：15分

【熊本交通センターから】

 - ・市電：11分
（「辛島町」電停乗車～「水道町」電停下車）
 - ・熊本都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バス、熊本バス：8分（「水道町」バス停下車）、
6分（「通町筋」バス停下車）
 - ・タクシー：5分

【JR新水前寺駅から】

 - ・市電：8分（「水道町」電停下車）
 - ・熊本都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バス、熊本バス：8分（「水道町」バス停下車）、
11分（「通町筋」バス停下車）

【熊本空港から】

 - ・九州産交バス（空港専用リムジンバス）で40分、「通町筋」バス停下

【九州自動車道】

 - ・益城熊本空港インターチェンジから車で30分（約7.5 km）
 - ・熊本インターチェンジから車で30分（約7.8 km）

第29回日本体力医学会東海地方会のご案内

日 時：2025年3月16日(日)
 午前9時～午後5時(予定)
 会 場：名古屋大学 野依記念学術交流館
 地下鉄名城線 名古屋大学駅2番出口から
 徒歩7分
 大会長：秋間 広(名古屋大学総合保健体育科学センター)
 会 費：一般2,000円, 学生・大学院生1,000円
 支払い方法は現金にて、現地で徴収いたします。
 予定プログラム：
 1) 一般演題発表
 2) 特別講演
 テーマ：「健康・スポーツ医科学における磁気共鳴
 画像法および磁気共鳴分光法の応用」
 演 者：高橋英幸(筑波大学)
 3) シンポジウム
 テーマ：「電気刺激を用いた身体機能および認知機
 能向上メカニズムの解明とその応用」

オーガナイザー：片山敬章(名古屋大学)
 渡邊航平(中京大学)
 演 者：竹田良祐(中京大学)
 安藤創一(電気通信大学)

資格更新単位について：

第29回日本体力医学会東海地方会学術集会は、健康運動指導士および健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位となるよう、申請中です。受講証明書が必要な方は「健康運動指導士証・健康運動実践指導者証」を、当日にご持参ください。

連絡先：

第29回日本体力医学会東海地方会学術集會事務局
 吉子彰人(中京大学教養教育研究院)
 TEL: 052-835-7111(代表) 内線 4-1449
 E-mail: yoshiko@lets.chukyo-u.ac.jp

第177回日本体力医学会関東地方会のご案内

テ ー マ：「健康長寿～活力ある老いを目指して～」
 大 会 長：山内秀樹(東京慈恵会医科大学分子生理学講
 座体力医学研究室)
 開催日時：2025年4月26日(土) 13:00
 会 場：東京慈恵会医科大学西新橋校南講堂

特別講演：体力医学を考える
 演 者：栗原敏(東京慈恵会医科大学理事長)

シンポジウム1：サルコペニアの分子基盤と身体活動による予防

- サルコペニアの分子メカニズム
 本橋紀夫(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター)
- 身体活動による予防
 沢田秀司(順天堂大学スポーツ健康科学部)

ブレイクタイム

シンポジウム2：健康維持としての睡眠の役割

- 加齢、疾患による睡眠異常
 金子杏美(筑波大学グローバル教育院)
- 食事による睡眠の改善
 岡村響(筑波大学グローバル教育院)

シンポジウム3：ポリアミンと健康長寿

- ポリアミン代謝制御による細胞老化抑制の可能性
 植村武史(城西大学薬学部)
- Alzheimer's病の抑制研究を通して得られた抗加齢に臨むポリアミン代謝のパラダイムシフト
 南澤磨優(千葉工業大学先進工学部教育センター)

一般口頭発表も募集します。

応募にあたっては、抄録掲載フォーマットに必要な事項を記入し、日本体力医学会第177回関東地方会事務局 tairyokukanto177@gmail.com まで添付にてお送りください。

演題締切：2025年2月28日です。

編 集 後 記

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 禍のころから、リモート会議やビデオ・カンファレンスが定着してきた。そのおかげで在宅勤務なども可能になり、これまでの日常とは異なる習慣が生活に忍び込んだ感がある。確かに、大学の会議は出席率が増えた。子育て世代は家にながら仕事がおこなえるので助かるだろう。学生は上半身だけ正装をしてコンピュータの前に座り、大学で就活の面接を受けている。直接会うよりもその方が緊張しないし、数もおこなえるから便利だという。学会もリモートで運営されることが増えた。旅費がかからず経済的だし、身が自由な分デスク・ワークと学会参加が無駄なく行える。たまにネットワークのトラブルに出くわすこともあるが、ほとんどが成功裏に大会をおえているのではない。しかし、利点だけが新たな日常に忍び込んだわけではないと、個人的には感じている。例えば、集中力の低下がその一つである。やろうと思えばマルチ・タスクが可能な環境が出来上がってしまったので、いずれの仕事にも100%の労力を注げない、あるいは何か別のことに気が取られてしまう、と感じる場面に出会うことがあるのは、おそらく私だけではあるまい。集中力の低下が、大学の会議中に起こるのであれば、よい(よくないか?)。私が恐れるのは、他者に対する集中力が低下することで

ある。この場合の集中力とは、思いやり、優しさ、よい意味での関心「力」が含まれる。対面でラボ・ミーティングが持てなかった頃、研究チームのチーム・ワークが希薄になったと感じた時期があった。歴代、チーム・ワークが自慢の研究室だったのに、である。「研究はチームで進めるもの」をモットーにしていたのに、である。一時のことはあったが、怖いと思った。学会にも同じことが言えるのかもしれない。学会に参加すると共同研究者と会える。面識のない研究者の場合であっても、深い情報を得るには緊密なコミュニケーションが必要であろう。Face to Faceが生むシナジーは、眼には見えにくい、あなどれない大切なのだと思う。

本号(体力科学第74巻1号)では、第79回日本体力医学会大会、第7回日本体力医学会南九州地方会、第29回日本体力医学会東海地方会、第177回日本体力医学会関東地方会と、計4つの学会案内が掲載されている。ぜひ、シナジーを高めていただきたい。JPFMSM, Vol. 14, No. 1の抄録は、Regular Article 2編、Short Communication 1編が収められている。これらも楽しんでいただきたい。

藤井 宣晴

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.74, No.1

体 力 科 学 第74巻第1号

令和7年1月25日 印刷
令和7年2月1日 発行

編集兼発行者
発行所

編集事務局

印刷所

後藤 勝 正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社